



患者様の心に寄り添い、少しでも安心感を持ってもらうように接することを大切にしている。その姿勢がお互いの信頼を生む。

方々の医療を総合的に担当します。欧米ではプライマリケア医が確立しているのですが、これまで日本では曖昧な領域だったのです。従来は、内科や小児科の開業医の先生や外来の先生などがその役割を果たしてきました。時代劇で言えば、町医者のような存在かも知れません。地域医療におけるプライマリケアについては、これからもそのあり方を追及していきたいと思っています」

岩崎院長は、たとえ同クリニックでの治療が難しくとも、地域医療の窓口として適切な専門医を紹介してくれる。そんな時は岩崎院長がかつて勤務医として務めていたときの幅広いネットワークを活かし、各種の医療機関と連携して対応してくれる。

「地域をプライマリケアで支える上では、勤務医時代のネットワークは今となつてはなくてはならないもの。そのネットワークにある医療機関とは連携がスムーズで、緊急時にも対応可能なのです。これは当クリニックを利用していただく上では、患者様にとっても大きな安心感になるでしょう。また、自分自身が長く



診療時間 / 9:00~12:30 14:30~18:00
木・土曜日9:00~12:30
休診日 / 日曜日・祝日・木・土曜日午後
アクセス / JR仙山線陸前落合駅より徒歩約10分

ひろせ中央クリニック

☎ 022-391-0755
☎ 022-391-0756
📍 宮城県仙台市青葉区落合2-4-12
<http://www.myclinic.ne.jp/p911348/pc/>

がんの専門医をしていたので、がんの早期発見には力になれると思っています。大きな病院の役割の違いは、こうしたプライマリケアで地域を支えていく事にあるのだと思います」

岩崎院長は、これからの地域のかかりつけ医として、医療に関することなら何でも相談に乗り、社会的背景なども総合的に判断し、あらゆる医療の窓口となれるように関連機関とも相互にコミュニケーションを図り、家庭医としての多くの方を安心させている。

(ライター / 本名広男)



患者様には丁寧な説明を心がけ、納得して治療に臨んでもらえるようにしている。地域において家族ぐるみのかかりつけ医として活躍している。



「ひろせ中央クリニック」

岩崎剛一院長
新潟大学医学部卒業。東京通信病院勤務。東北大学第一外科入局。その後、白河厚生病院、十和田市立病院、癌研究会付属病院内、仙塩総合病院、仙台通信病院、水沢市立病院に勤務。日本外科学会、日本消化器外科学会所属、日本外科学会専門医、日本消化器外科学会認定医。



健康への不安に総合的な医療を 医療科目を越えたプライマリケア

宮城県仙台市の「ひろせ中央クリニック」は、外科医として約18年の間、がんの治療に携わってきた岩崎院長が開業したクリニックだ。岩崎剛一院長は、外科の執刀医としての長いキャリアを持っているが、ある縁により地域医療を担う開業医として「ひろせ中央クリニック」を2004年に開業した。

同クリニックは内科・小児科・皮膚科・外科・リハビリテーション科を診療科目としているクリニックだが、岩崎院長はそれにとらわれず、家庭医としてプライ

マリケアを展開している。プライマリケアとは、「身近にあつて、何でも相談にのってくれる、体や心が抱える問題を総合的に診る医療」のこと。同クリニックは専門分野を超えて健康上の問題に総合的に対応していることで、「体に不調があるけれど、どの診療科に向いたらいいかわからない」というときは、まず岩崎院長を訪ねて欲しい。同クリニックでは、丁寧に病状や治療方針を説明してくれ、治療に臨む患者の不安を解消してくれるなど、いわば心のケアも行っているのだ。岩崎院長は同クリニックでの診療について次のように語る。

「地域医療においては、医師は家庭医としてあたります。それには医療の専門家である前に、人と人との関係が大切になるので、人間としての人格がしっかりと確立していなければなりません。また、医療の窓口たるプライマリケアを行う存在なので、各分野の専門性より総合的にあらゆる医療に精通していなければならないのです。家庭医は、疾病臓器・患者の性別・年齢・その他医学的技能的専門性にとらわれずに、患者様や地域の